



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月3日

上場会社名 株式会社日本触媒 上場取引所 東・大
 コード番号 4114 URL <http://www.shokubai.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)池田 全徳
 問合せ先責任者 (役職名)総務部長 (氏名)和田 輝久 TEL (06)6223-9111
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満は四捨五入して表示)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	83,387	18.1	9,582	27.5	10,434	37.6	6,881	92.1
23年3月期第1四半期	70,607	28.0	7,513	227.0	7,580	167.6	3,582	186.0

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 8,128百万円 (210.3%) 23年3月期第1四半期 2,619百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	33.89	—
23年3月期第1四半期	20.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	342,886	200,645	57.2	965.82
23年3月期	329,332	194,266	57.9	938.67

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 196,068百万円 23年3月期 190,557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成23年3月期(前期) 配当金の内訳 普通配当 第2四半期末9円、期末9円、合計18円

記念配当 第2四半期末1円、期末3円、合計 4円

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	165,000	19.5	16,500	22.6	18,000	34.4	12,000	60.3	59.11
通期	320,000	11.0	23,000	△22.9	25,000	△19.2	16,500	△21.9	81.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

なお、通期連結業績予想につきましては、平成24年3月期第2四半期決算発表時に改めて公表する予定です。

詳細は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (一)、除外 一社 (一)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期1Q	212,000,000株	23年3月期	212,000,000株
24年3月期1Q	8,993,646株	23年3月期	8,992,680株
24年3月期1Q	203,006,620株	23年3月期1Q	178,021,662株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による供給の落ち込みと個人消費の減少、さらには世界経済回復の足取りが緩やかになっていることなど、厳しい状況のなかで推移しました。

化学工業界におきましては、新興国の需要が旺盛であるものの、円高の定着や原料価格高など、先行きが不透明ななかで推移しました。

①全体の状況

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減		前連結会計年度
			(金額)	(伸び率)	
売上高	70,607	83,387	12,780	18.1%	288,345
営業利益	7,513	9,582	2,069	27.5%	29,813
経常利益	7,580	10,434	2,853	37.6%	30,955
四半期(当期)純利益	3,582	6,881	3,299	92.1%	21,119
1株当たり四半期(当期)純利益	20.12円	33.89円	13.77円	68.4%	110.30円
ROA(総資産経常利益率)	9.7%	12.4%	—	2.7ポイント	9.7%
ROE(自己資本当期純利益率)	8.9%	14.2%	—	5.3ポイント	12.1%
為替(\$、EUR)	\$=¥92.01 EUR=¥117.03	\$=¥81.71 EUR=¥117.38		¥△10.30 ¥0.35	\$=¥85.72 EUR=¥113.15
ナフサ価格	49,700円/kl	59,000円/kl		9,300円/kl	47,500円/kl

(注) 四半期のROA及びROEは、年換算しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、円高に伴う手取額の減少や、一部の子会社において震災の影響による出荷数量の減少があったものの、全体としては需要が堅調に推移するなかで販売数量を伸ばし、さらには原料価格高や需給逼迫を背景に製品価格も上昇した結果、前年同四半期に比べて127億8千万円増収(18.1%)の833億8千7百万円となりました。

利益面につきましては、高吸水性樹脂の生産能力増強等により固定費が増加したものの、生産・販売数量の増加や一部製品のスプレッド拡大(原料価格の上がり幅以上に製品市況が上昇)等が収益性向上に寄与し、営業利益は前年同四半期に比べて20億6千9百万円増益(27.5%)の95億8千2百万円となりました。

経常利益は、持分法投資利益の増加や為替差損の減少等により営業外損益は7億8千5百万円の増益となり、前年同四半期に比べて28億5千3百万円増益(37.6%)の104億3千4百万円となりました。また、四半期純利益は、前年同四半期に比べて32億9千9百万円増益(92.1%)の68億8千1百万円となりました。

②セグメント別の概況

[基礎化学品事業]

アクリル酸およびアクリル酸エステルは、販売数量はほぼ横ばいであったものの、世界的な需給逼迫に伴う市況高騰により輸出価格が上昇したため、大幅な増収となりました。

酸化エチレンは、需要が堅調に推移するなか、販売数量を伸ばし、さらには原料価格高に伴い販売価格も修正したことにより、増収となりました。

エチレングリコールは、市況が高値で推移するなかで、国内の販売数量を伸ばしたことにより、増収となりました。

高級アルコールは、輸出を中心に販売数量を伸ばし、原料価格高等に伴い販売価格も修正したことにより、増収となりました。

エタノールアミンは、原料価格高等により販売価格を修正しましたが、輸出を中心に販売数量が減少したことにより、減収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業の売上高は、前年同四半期に比べて14.9%増加の363億1千4百万円となりました。

営業利益は、生産能力増強等に伴い固定費が増加したものの、増販・増産効果や一部の製品市況高騰によるスプレッド拡大等により収益性が大幅に改善した結果、前年同四半期に比べて57.3%増加の52億7千8百万円となりました。

[機能性化学品事業]

高吸水性樹脂は、需要が堅調に推移するなかで生産能力を増強したことにより販売数量を大幅に伸ばし、増収となりました。

無水マレイン酸および洗剤原料は、販売数量を伸ばしたことに加えて、原料価格高に伴い販売価格も修正したことにより、増収となりました。

コンクリート混和剤用ポリマーおよび電子情報材料は、販売数量を伸ばしたことにより、増収となりました。

特殊エステル、樹脂改質剤および塗料用樹脂は販売数量が減少したものの、価格修正等により増収となりました。

粘着加工品およびよう素化合物は、販売数量が減少したため、減収となりました。

以上の結果、機能性化学品事業の売上高は、前年同四半期に比べて19.8%増加の418億9千9百万円となりました。

営業利益は、円高や原料価格高等の影響があったものの、生産・販売数量の拡大を推進し、また販売価格の修正等にも努めた結果、前年同四半期に比べて53.2%増加の46億6百万円となりました。

[環境・触媒事業]

自動車触媒、プロセス触媒、脱硝触媒およびダイオキシン類分解触媒は、販売数量を大きく伸ばしたことにより、大幅な増収となりました。

燃料電池材料は、販売数量が減少したため、減収となりました。

以上の結果、環境・触媒事業の売上高は、前年同四半期に比べて29.0%増加の51億7千4百万円となりました。

営業利益は、プロセス触媒の増販効果はあったものの、たな卸資産評価益の減少等により、前年同四半期に比べて90.9%減少の1億1百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて135億5千4百万円増加の3,428億8千6百万円となりました。流動資産では、売上債権及びたな卸資産が増加したことなどにより増加しました。固定資産では、有形固定資産の増加などにより増加しました。

負債は、前連結会計年度末に比べて71億7千4百万円増加の1,422億4千1百万円となりました。仕入債務及び短期借入金が増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて63億7千9百万円増加の2,006億4千5百万円となりました。その他有価証券評価差額金は減少したものの、利益剰余金が増加したことなどによるものです。

自己資本比率は、前連結会計年度末の57.9%から57.2%へと0.7ポイント減少しました。なお、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末に比べて27.15円増加の965.82円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローおよび借入れ等の財務活動によるキャッシュ・フローの収入が、設備投資等の投資活動によるキャッシュ・フローの支出を上回ったため、前連結会計年度末に比べて8億9千2百万円増加の400億6千7百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間の60億2千2百万円の収入に対し、42億6千2百万円の収入となりました。税金等調整前四半期純利益は増加したものの、たな卸資産の増加や法人税等の支払額が増加したことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間の57億5百万円の支出に対し、47億3千5百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間の34億1千8百万円の支出に対し、8億8千1百万円の収入となりました。配当金の支払額は増加したものの、短期借入れによる収入が増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、「業績予想の修正に関するお知らせ」を平成23年7月25日に公表しております。

連結業績では、前回発表予想（平成23年5月6日）に対し営業利益85億円（106.3%）、経常利益75億円（71.4%）、当期純利益50億円（71.4%）の大幅な増益予想修正となっております。

なお、第2四半期連結会計期間（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）の業績予想は、為替レート80円/米ドル、110円/ユーロ、ナフサ価格57,000円/キロリットルを前提としております。

・平成24年3月期第2四半期連結累計期間 事業の種類別業績予想 (単位：億円)

	基礎化学品		機能性化学品		環境・触媒		合計	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
前回発表 (5月6日)	610	15	780	60	110	5	1,500	80
今回発表 (7月25日)	710	80	850	83	90	2	1,650	165
差	100	65	70	23	△ 20	△ 3	150	85

以下の理由により、平成24年3月期通期業績予想につきましては、平成24年3月期第2四半期決算発表時に改めて公表する予定です。

上記のとおり第2四半期業績予想は、利益面で前回発表予想に対して営業利益で2倍、経常利益および四半期純利益がいずれも1.7倍と大幅な上方修正となっており、主な要因は、想定以上の販売数量の増加及びスプレッドの維持・拡大であります。この様に、前回発表時点から現在までの間においても状況の予測が困難であること、並びに化学工業界における原料価格動向、東日本大震災等の影響による需給動向、および各国財政事情を反映した為替動向等の不透明さを勘案いたしますと、今後の変動要因が大きいため、現時点では平成24年3月期通期業績予想は困難であると判断いたしました。

2. サマリー情報(その他)に関する事項**(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動**

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,304	40,322
受取手形及び売掛金	72,676	78,499
商品及び製品	21,690	26,009
仕掛品	5,765	6,175
原材料及び貯蔵品	11,960	12,223
その他	9,513	10,000
貸倒引当金	△74	△69
流動資産合計	160,834	173,159
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	56,213	55,039
土地	31,567	31,846
その他（純額）	32,040	35,397
減損損失累計額	△4,027	△4,065
有形固定資産合計	115,793	118,217
無形固定資産		
のれん	937	820
その他	2,369	2,365
無形固定資産合計	3,305	3,184
投資その他の資産		
投資有価証券	35,181	33,136
その他	14,432	15,392
貸倒引当金	△214	△202
投資その他の資産合計	49,399	48,326
固定資産合計	168,498	169,727
資産合計	329,332	342,886
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,643	43,512
短期借入金	16,749	21,541
1年内返済予定の長期借入金	4,884	4,273
未払法人税等	7,639	5,046
賞与引当金	2,798	4,696
その他の引当金	2,943	2,670
その他	7,142	7,200
流動負債合計	81,799	88,938
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	27,418	26,605
退職給付引当金	9,079	9,840
その他	1,770	1,857
固定負債合計	53,267	53,302
負債合計	135,066	142,241

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,038	25,038
資本剰余金	22,083	22,083
利益剰余金	158,961	163,406
自己株式	△7,990	△7,991
株主資本合計	198,092	202,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,367	1,634
繰延ヘッジ損益	△17	△11
為替換算調整勘定	△9,886	△8,090
その他の包括利益累計額合計	△7,536	△6,468
少数株主持分	3,709	4,577
純資産合計	194,266	200,645
負債純資産合計	329,332	342,886

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	70,607	83,387
売上原価	53,980	64,389
売上総利益	16,627	18,999
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	3,466	3,317
人件費	1,814	2,030
研究開発費	2,531	2,698
その他	1,302	1,372
販売費及び一般管理費合計	9,114	9,417
営業利益	7,513	9,582
営業外収益		
受取利息	17	24
受取配当金	321	418
持分法による投資利益	323	784
不動産賃貸料	309	306
その他	162	183
営業外収益合計	1,133	1,715
営業外費用		
支払利息	234	194
為替差損	632	250
その他	199	420
営業外費用合計	1,065	863
経常利益	7,580	10,434
特別損失		
その他	752	—
特別損失合計	752	—
税金等調整前四半期純利益	6,828	10,434
法人税、住民税及び事業税	3,963	4,108
法人税等調整額	△808	△697
法人税等合計	3,155	3,412
少数株主損益調整前四半期純利益	3,673	7,022
少数株主利益	91	141
四半期純利益	3,582	6,881

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,673	7,022
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,374	△733
繰延ヘッジ損益	4	△1
為替換算調整勘定	26	1,376
持分法適用会社に対する持分相当額	290	464
その他の包括利益合計	△1,054	1,106
四半期包括利益	2,619	8,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,512	7,949
少数株主に係る四半期包括利益	107	180

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,828	10,434
減価償却費	3,771	4,108
その他の特別損益(△は益)	752	—
受取利息及び受取配当金	△338	△443
支払利息	234	194
持分法による投資損益(△は益)	△323	△784
売上債権の増減額(△は増加)	△5,426	△2,030
たな卸資産の増減額(△は増加)	△598	△3,872
仕入債務の増減額(△は減少)	1,619	△614
その他	1,443	2,425
小計	7,961	9,418
利息及び配当金の受取額	1,285	1,434
利息の支払額	△145	△110
法人税等の支払額	△2,828	△6,611
保険金の受取額	—	130
その他の支出	△251	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,022	4,262
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,192	△4,822
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	182
その他	△513	△96
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,705	△4,735
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△791	4,808
長期借入れによる収入	60	100
長期借入金の返済による支出	△1,410	△1,548
配当金の支払額	△1,246	△2,436
少数株主への配当金の支払額	△21	△26
自己株式の取得による支出	△2	△1
その他	△8	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,418	881
現金及び現金同等物に係る換算差額	△82	484
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,183	892
現金及び現金同等物の期首残高	28,234	39,174
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,052	40,067

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	基礎化学品	機能性化学品	環境・触媒	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,617	34,979	4,011	70,607	—	70,607
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,543	436	374	8,353	△8,353	—
計	39,160	35,415	4,385	78,960	△8,353	70,607
セグメント利益	3,354	3,007	1,119	7,481	32	7,513

(注) 1 セグメント利益の調整額32百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	基礎化学品	機能性化学品	環境・触媒	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,314	41,899	5,174	83,387	—	83,387
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,012	393	904	11,309	△11,309	—
計	46,325	42,293	6,078	94,696	△11,309	83,387
セグメント利益	5,278	4,606	101	9,985	△403	9,582

(注) 1 セグメント利益の調整額△403百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(参考情報)

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	14,141	10,031	6,981	2,368	33,520
II 連結売上高(百万円)					70,607
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	20.0	14.2	9.9	3.4	47.5

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	16,093	10,143	6,729	5,256	38,221
II 連結売上高(百万円)					83,387
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	19.2	12.2	8.1	6.3	45.8

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 各区分に属する主な国又は地域
 (1) アジア ……………東アジア及び東南アジア諸国
 (2) 欧州 ……………ヨーロッパ諸国
 (3) 北米 ……………北アメリカ諸国
 (4) その他の地域 ……………アジア、欧州、北米及び本邦を除く国又は地域
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高の合計金額であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。